

第 111 回 FM 桐生番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和 7 年 3 月 18 日 火曜日
2. 開催場所 FM 桐生 3 階会議室（桐生市本町 5 丁目 365-1）
3. 委員総数 8 名
出席委員数 5 名
出席委員の氏名 板橋英之、岡野紀子、小泉充、飯野マリエ、大澤善康
欠席委員の氏名 中村昌也、星野麻実、豊田れい子
放送事業者側出席者名 坂田道信、天路ひとみ

4. 議題（1）聴取番組について委員からの意見と提案

5. 議事の概要

開会

挨拶

資料配布物の確認

次第・次回聴取番組 CD 『おはよう桐生月曜日』（令和 7 年 3 月 17 日（月）放送分）

報告事項

- ・ 4 月改編について

次回開催日程 令和 7 年 5 月 13 日（火）19 時～

6. 審議内容

- ・ 放送日時：令和 7 年 1 月 12 日（日）11 時 30 分～
- ・ 番組名：『妄想テックラボ』
- ・ 放送形態：収録
- ・ 番組内容：技術書を複数執筆しているエンジニアの梅津所長と、現役学生で IT 企業の COO を務める坂本研究員がお送りするテック系ラジオ。最新テックから未来を妄想します！
- ・ 出演者：梅津所長 坂本研究員

（1）聴取番組について、委員からの意見

【委員】

- ・ 専門的な話の番組で、今注目の生成 AI やディープラーニングの話を知ることができた。
- ・ 話のテンポが良く、聞きやすかった。
- ・ 現場の最前線の方の話を知ることができて良かった。

- ・関心のない分野だったため、何も残らなかった。
- ・声は落ち着いていて聞きやすかった。
- ・落ち着いた感じの聞きやすい、良い番組。
- ・テーマがAIで、日常的には浸透しているとはいえ距離感がある話だと思ったが、助手の方がゆるい感じの話し方なので、聞き慣れない言葉が出てきても自分も理解できたような、気持ちになることができた。
- ・番組を通して聞いてみると、ゲストの方と元々知り合いで、仲が良いのが分かったが、最初に聞いた時は、笑いながら話しているのが失礼に当たるのではないかと思ってしまった。
- ・最初に番組内で話す内容の説明があったので、どのような話がこれから始まるのか分かったため、聞きやすかった。
- ・話の内容を専門で学んでいる学生にとっては、とても良い番組だと思った。
- ・起業の話を知っていると今の若者に対する考え方も変わり、起業した人の話を聞いて、こういう若者もいるのだなと、明るく良い未来が見えた。
- ・最初に番組で話内容の紹介があったので、どのような番組かわかった上で聞くことができ、とても聞きやすかった。
- ・3分20秒くらいに流れたビューンというような音はいらぬような気がした。
- ・ゲストの方の声が聞きにくかった。
- ・専門的な話は、専門的な事が分からない人にも分かりやすく話せると良いのではと思った。

【回答】

- ・聞き手が話の内容や専門的な言葉を分かっても、リスナーに合わせて、知らない前提で聞くなど、通訳的な立場になると、誰にでも聞きやすい番組になるのではと思う。
- ・専門用語は、わかりやすいようにかみ砕いて話す必要がある

【その他】

- ・コロナが明けてきてゲストの受け入れ制限がなくなったので、市民制作番組枠でゲスト出演した方が番組を始めるといったパターンも何件が出てきた。
- ・新しいスポンサーも増えてきた。
コロナ期に比べて景気も回復傾向にあると思われる。
- ・4月から新しい番組もいくつかスタートする予定。
- ・番組の質の向上のため、半期毎の番組自己評価アンケートを実施中。

【委員長より今年度を総括】

- ・バラエティに富んだ番組が増えてきたと思う。
- ・群馬大学の学生の番組も有ると良い。

7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社番組内での紹介、事務所への備置き、
自社ホームページ <http://www.fmkiryu.jp/>へ掲載

公表の内容 この書類と同様

公表年月日 送付日と同日

8. その他参考事項 特になし